

HeartCore
自動 AMP 変換機能
マニュアル
August 2019 Ver1.0

改訂履歴

	改訂日	改訂内容
初版	2019 年 8 月	新規作成

目次

1. 本文書の目的	- 4 -
1.1. 目的	- 4 -
2. 機能概要	- 4 -
2.1. 本機能について	- 4 -
2.2. 利用目的	- 4 -
2.3. 利用可能なユーザ権限	- 4 -
2.4. 機能概念図	- 4 -
3. 設定項目の説明	- 5 -
3.1. 操作画面の説明	- 5 -
3.2. AMP WEB サイトドメイン名もしくはプリフィックス	- 5 -
3.3. AMP URL パラメータ名	- 5 -
3.4. AMP コンテンツグループと AMP コンテンツタイプ	- 6 -
3.5. AMP 商品グループと AMP 商品タイプ	- 6 -
4. 利用方法	- 7 -
4.1. AMP 化するコンテンツの作成	- 7 -
4.2. 「AMP 検証機能」の利用	- 8 -
4.3. AMP 化対象のグループ・タイプ指定	- 9 -
4.4. AMP 化コンテンツ	- 10 -
5. Web サイトドメインによる AMP 化	- 13 -
5.1. 「AMP WEB サイトドメイン名もしくはプリフィックス」を指定	- 13 -
6. AMP URL パラメータの変更	- 15 -
6.1. 「AMP URL パラメータ名」を指定	- 15 -
7. 注意事項	- 16 -
7.1. AMP 自動変換について	- 16 -
7.2. AMP 検証機能の利用環境について	- 16 -
7.3. AMP 検証機能の利用ブラウザについて	- 16 -

1. 本文書の目的

1.1. 目的

本文書は、HeartCore の標準機能として v11.1 より追加された「自動 AMP (Accelerated Mobile Pages) 変換機能」を説明した文書となります。

本文書を参照することで、該当機能の一通りの操作を行うことができる事を目的としております。

2. 機能概要

2.1. 本機能について

自動 AMP 変換機能では、HeartCore が管理しているコンテンツを Google が推進しているモバイルページを高速に表示させる手法を支援する機能となります。

※本書では AMP 自体の概要に関する説明や実際のソースコードの書き方についての解説は行っておりません。AMP 自体の詳細につきましては AMP プロジェクトの公式ページ (<https://amp.dev/>) をご参照ください。なお、本文書にて記載されている情報につきましては、2019 年 8 月時点の情報となります。

2.2. 利用目的

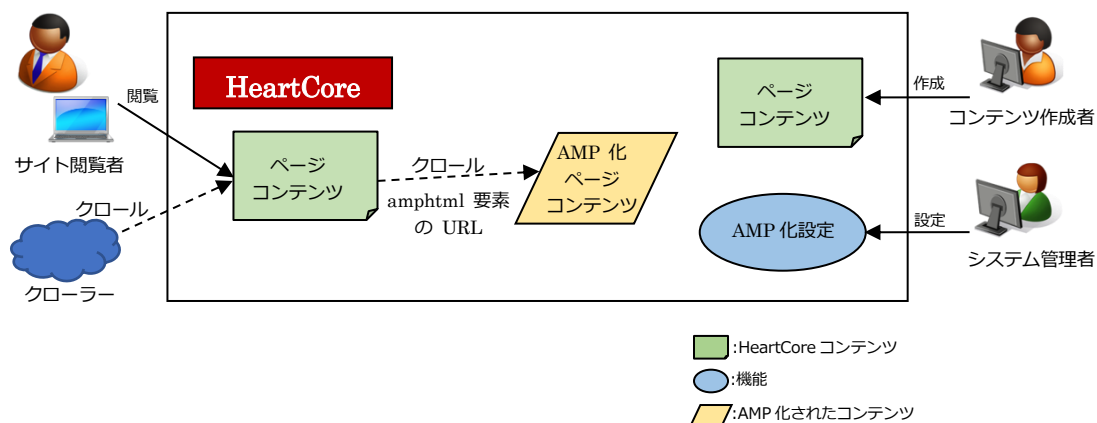
本機能を利用することで、サイト全体、または任意のコンテンツをまとめて AMP 化する事ができます。

2.3. 利用可能なユーザ権限

本機能を利用することができるユーザは、HeartCore のスーパーユーザ（全体管理者）となります。

2.4. 機能概念図

当該機能を利用する為の一連の作業概要イメージを下図に示します。



3. 設定項目の説明

3.1. 操作画面の説明

コンテンツを AMP 化して出力するには、HeartCore 管理画面より、設定 > システム > ウェブサイト画面の Web サイト設定タブにある「Accelerated Mobile Pages (AMP)」項目で設定します。



3.2. AMP Web サイトドメイン名もしくはプリフィックス

AMP 化する対象のドメインを本項目へ設定する事で、設定されたドメイン全てのリクエストに対し AMP 化したコンテンツを出力します。

AMP Webサイトドメイン名もしくはプリフィックス

3.3. AMP URL パラメータ名

AMP 化するコンテンツを定義する amphtml 要素の URL パラメータを設定する事で、任意のパラメータ名でコンテンツを AMP 化します。amphtml 要素はサイトを訪れた Google クローラーへ AMP ページが存在する事を伝える役割をもちます。

AMP URLパラメータ名

※未指定の場合、URL パラメータ名は "AMP" となります。

3.4. AMP コンテンツグループと AMP コンテンツタイプ

① AMP コンテンツグループ	② AMP コンテンツタイプ
- なし - - すべて - - 任意 - About Us Careers Company Blog Company Blog Comments Company Blog Entries Company News Content Schema Customer Service E-Commerce	- なし - - すべて - - 任意 - Events Events Admin Job Search Job Search Admin News Product Posts Special Support Tickets Support Tickets Admin

No.	項目名	説明
①	AMP コンテンツグループ	AMP 化を行うコンテンツグループを選択します。
②	AMP コンテンツタイプ	AMP 化を行うコンテンツタイプを選択します。

※「AMP コンテンツグループ」と「AMP コンテンツタイプ」の両方を選択した場合は、両方に所属するコンテンツが AMP 化の対象コンテンツとなります。

3.5. AMP 商品グループと AMP 商品タイプ

③ AMP 商品グループ	④ AMP 商品タイプ
- なし - - すべて - - 任意 - Digital Products 1 Member Products 1 Physical Products 1 Physical Products 2 Subscription Services 1	- なし - - すべて - - 任意 - Feature

No.	項目名	説明
③	AMP 商品グループ	AMP 化を行う商品グループを選択します。
④	AMP 商品タイプ	AMP 化を行う商品タイプを選択します。

※「AMP 商品グループ」と「AMP 商品タイプ」の両方を選択した場合は、両方に所属するコンテンツが AMP 化の対象コンテンツとなります。

4. 利用方法

4.1. AMP 化するコンテンツの作成

保存 ▼

新規追加

削除 ▼

検証

HTML ▼

Eメール ▼

プレビュー

- 標準 - ▼

アクセシビリティ

ブラインド ▼

最新 ▼

変更履歴

プライマリコンテンツ

プレゼンテーション

追加コンテンツ

メタ情報

アドバンススクリプト

コンテンツカテゴリ

コンテンツバージョン

アクセス制限

関連コンテンツ

コンテンツの依存関係

アクセス解析

プライマリコンテンツ
 タイトル、イメージ等コンテンツの詳細を入力します。

タイトル

コンテンツ

ファイル

ホーム

挿入

テーブル

フォーム

ビルダー

レビュー

切り取り

貼り付け

コピー

削除

クリップボード

編集

B

I

U

abc

X²

X₂

ab²

A ▼

フォント

段落

Abc

Abc

Abc

Abc

normal

Heading 1

Heading 2

Heading 3

Abc

Abc

Abc

color1

color2

color3

フォーマット

スタイル

Welcome to the web

 Dummy text.

【作成したコンテンツの HTML ソース例】

```

<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
<meta name="author" content="">
<meta name="description" content="">
<meta name="keywords" content="">
<title>Hello, World</title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/stylesheet.jsp?id=796">
</head>
<body>
Welcome to the web<br>

<p>Dummy text.</p>
</body>
</html>

```

※AMP 対象のコンテンツへ、schema.org の JSON-LD を指定する構造化マークアップを追加する場合は、別紙「コードスニペット用メタ情報オプション機能マニュアル」を参照ください。

4.2. 「AMP 検証機能」の利用

ページコンテンツ編集画面の検証項目で「AMP」を選択し「検証」ボタンを押下します。

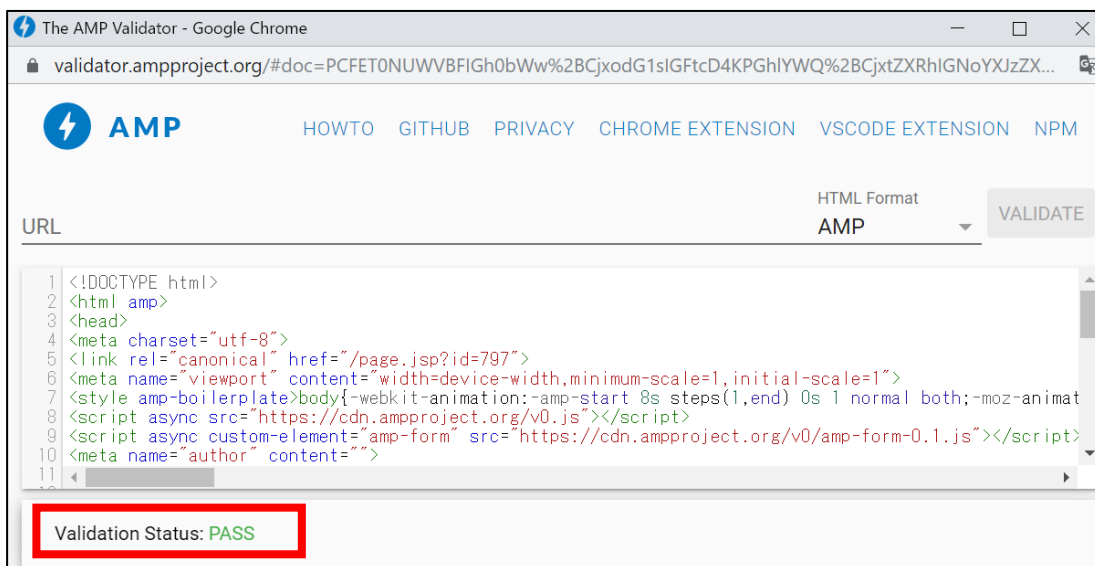
「検証」ボタンを実行すると、HeartCore で AMP 化されたコンテンツを「AMP プロジェクトのバリデーションサービス」で検証を行い AMP 化されたコンテンツの評価を確認できます。



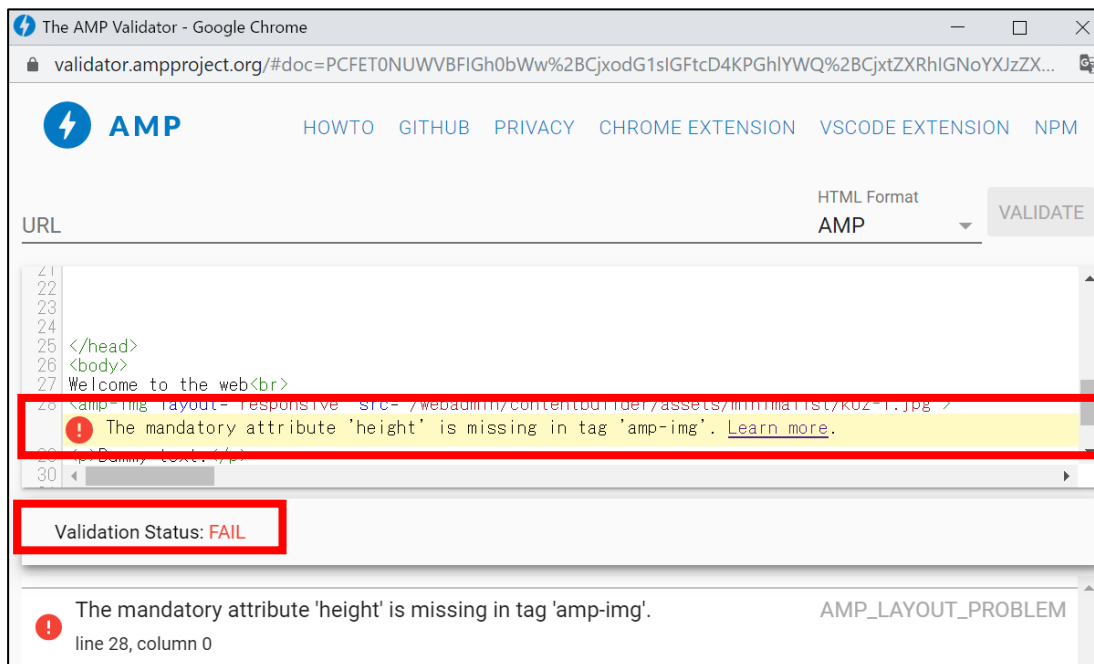
※AMP プロジェクトのバリデーションサービスは、Microsoft Internet Explorer に対応していませんのでご注意ください

【AMP 検証結果のイメージ】

AMP が有効の場合は、検証結果の画面に「PASS」評価が表示されます。

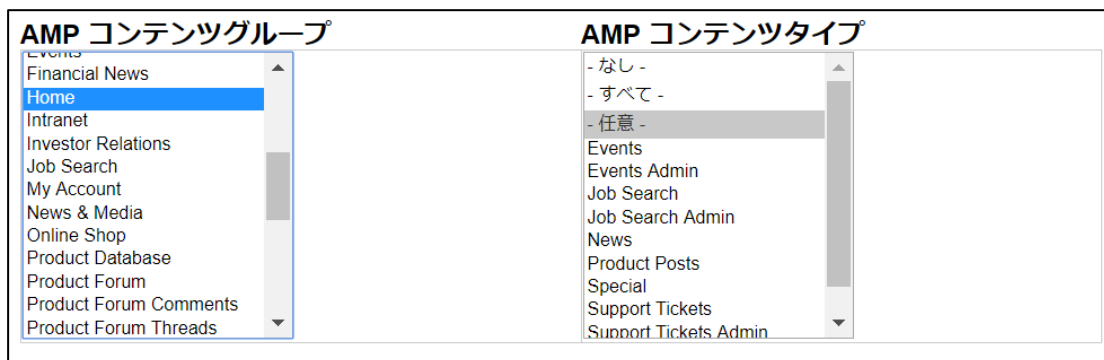


AMP 検証の結果に問題がある場合は、「FAIL」評価となり、問題の行と内容が表示されますので、コンテンツの編集画面へ戻り、AMP の検証結果が「PASS」となるようコンテンツを編集し調整ください。



4.3. AMP 化対象のグループ・タイプ指定

作成したコンテンツが所属するコンテンツグループ、又はタイプを選択し設定内容を保存します。



※上記のイメージは、Home コンテンツグループを AMP 化する場合のイメージとなります。

選択項目名	説明
-なし-	すべてのグループ・タイプの AMP 化を行わない場合に指定します。
-すべて-	すべてのグループ・タイプを AMP 化対象とする場合に指定します。
-任意-	コンテンツグループのみによる指定を行う場合は、コンテンツタイプは「-任意-」を指定してください。 コンテンツタイプのみによる指定を行う場合は、コンテンツグループは「-任意-」を指定してください。

4.4. AMP 化コンテンツ

AMP 化対象の公開ページへアクセスし、出力される HTML ソースを確認すると、amphtml 要素が自動で追加され AMP 化前の HTML ソースが出力されている事が確認できます。



【AMP 化指定されたコンテンツの HTML ソース例】

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<link rel="amphtml" href="/page.jsp?id=797&AMP=1">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
<meta name="author" content="">
<meta name="description" content="">
<meta name="keywords" content="">
<title>Hello, World </title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/stylesheet.jsp?id=796">
</head>
<body>
Welcome to the web<br>

<p>Dummy text.</p>
</body>
</html>
```

コンテンツに追加された amphtml 要素は、サイトを訪れたクローラーが読み込むことで AMP 化されたページをクロールさせます。

※<link rel="amphtml" href="【AMP ページ URL】">

HeartCore の AMP 化機能では、通常のページコンテンツへ AMP 化に必要なコードを付与し HTML コードを出力します。

下記に変換された際の一例をご紹介します。

例 1．AMP 化された場合、HTML タグコードに amp が自動で付与されます。

【AMP 化前】

```
<html>
```

【AMP 化後】

```
<html amp>
```

例 2．AMP ページへアクセスした場合は、<link rel="canonical"> が自動で指定されます。

【AMP ページアクセス時の出力例】

```
<link rel="canonical" href="/page.jsp?id=797">
```

canonical（カノニカル）属性とは、Google などの検索エンジンがサポートする URL を正規化するためのタグです。

canonical 指定をした URL を正規ページとしてインデックスを行うよう、クローラー に伝えることができます。

正規ページへアクセスした場合は、<link rel="amphtml"> が追加され AMP 向けページの URL が自動で指定されます。

【PC ページアクセス時の出力例】

```
<link rel="amphtml" href="/page.jsp?id=797&AMP=1">
```

例 3. AMP に必須の “boilerplate” や各ライブラリが自動で付与されます。

```
<meta name="viewport" content="width=device-width,minimum-scale=1,initial-scale=1">
<style amp-boilerplate>body{-webkit-animation:-amp-start 8s steps(1,end) 0s 1 normal both;-
moz-animation:-amp-start 8s steps(1,end) 0s 1 normal both;-ms-animation:-amp-start 8s
steps(1,end) 0s 1 normal both;animation:-amp-start 8s steps(1,end) 0s 1 normal both}@-
webkit-keyframes -amp-start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@-moz-keyframes -
amp-start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@-ms-keyframes -amp-
start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@-o-keyframes -amp-
start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@keyframes -amp-
start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}</style><noscript><style amp-
boilerplate>body{-webkit-animation:none;-moz-animation:none;-ms-
animation:none;animation:none}</style></noscript>
<script async src="https://cdn.ampproject.org/v0.js"></script>
<script async custom-element="amp-form" src="https://cdn.ampproject.org/v0/amp-form-
0.1.js"></script>
```

例 4. ページコンテンツで指定された スタイルシートは “amp-custom” タグ内に定義されます。

【AMP 化前】

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/stylesheet.jsp?id=796">
```

【AMP 化後】

```
<style amp-custom>
body {
  background-color: white;
}
</style>
```

例 5. ページで指定されたイメージは “amp-img” タグに変換されます。

【AMP 化前】

```

```

【AMP 化後】

```
<amp-img layout="responsive" src="/webadmin/contentbuilder/assets/minimalist/k02-1.jpg"
width="250px" height="139px">
</style>
```

5. Web サイトドメインによる AMP 化

5.1. 「AMP Web サイトドメイン名もしくはプリフィックス」を指定

ウェブサイトドメインを「AMP Web サイトドメイン名もしくはプリフィックス」項目で指定する事により、設定した内容とリクエストが一致する場合、アクセスされたページコンテンツに対し AMP に必要な追加や変更を行います。

例えば、「site1.heartcore.co.jp※」を設定した場合、設定したドメイン（ site1.heartcore.co.jp ※ ）でアクセスしたページは AMP 化し出力します。

AMP Web サイトドメイン名もしくはプリフィックス

site1.heartcore.co.jp

※設定値は任意です

【HTML ソース例】

```
<!DOCTYPE html>
<html amp>
<head>
<meta charset="utf-8">
<link rel="canonical" href="/page.jsp?id=797">
<meta name="viewport" content="width=device-width,minimum-scale=1,initial-scale=1">
<style amp-boilerplate>body{-webkit-animation:-amp-start 8s steps(1,end) 0s 1 normal
both;-moz-animation:-amp-start 8s steps(1,end) 0s 1 normal both;-ms-animation:-amp-
start 8s steps(1,end) 0s 1 normal both;animation:-amp-start 8s steps(1,end) 0s 1 normal
both}@-webkit-keyframes -amp-start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@-moz-
keyframes -amp-start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@-ms-keyframes -amp-
start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@-o-keyframes -amp-
start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}@keyframes -amp-
start{from{visibility:hidden}to{visibility:visible}}</style><noscript><style amp-
boilerplate>body{-webkit-animation:none;-moz-animation:none;-ms-
animation:none;animation:none}</style></noscript>
<script async src="https://cdn.ampproject.org/v0.js"></script>
<script async custom-element="amp-form" src="https://cdn.ampproject.org/v0/amp-
form-0.1.js"></script>
<meta name="author" content="">
<meta name="description" content="">
<meta name="keywords" content="">
<title>Hello, World </title>
```

```
<style amp-custom>
body {
  background-color: white;
}
</style>
</head>
<body>
Welcome to the web<br>
<amp-img layout="responsive" src="/webadmin/contentbuilder/assets/minimalist/k02-
1.jpg" width="250px" height="139px">
<p>Dummy text.</p>
</body>
</html>
```

※上記例は、「site1.heartcore.co.jp」を設定し AMP 化用の URL パラメータを指定せずにアクセスした場合の HTML ソース例となります。

6. AMP URL パラメータの変更

6.1. 「AMP URL パラメータ名」を指定

HeartCore で管理されているコンテンツを AMP 化した場合、URL パラメータには、標準でパラメータ "AMP=1"が適用されます。

もし、URL パラメータ名を変更する必要がある場合、「AMP URL パラメータ名」項目に任意のパラメータ名を設定する事で変更が可能です。

例えば、「ampformat※」を設定した場合、標準パラメータ "AMP=1"から「ampformat=1」に変更され、指定したパラメータ名でアクセスしたページを AMP 化し出力します。

AMP URLパラメータ名
ampformat

※設定値は任意です。

【HTML ソース例】

```
<!DOCTYPE html>
<html>
<head>
<link rel="amphtml" href="/page.jsp?id=797&ampformat=1">
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8">
<meta name="author" content="">
<meta name="description" content="">
<meta name="keywords" content="">
<title>Hello, World </title>
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="/stylesheet.jsp?id=796">
</head>
<body>
Welcome to the web<br>

<p>Dummy text.</p>
</body>
</html>
```

7. 注意事項

7.1. AMP 自動変換について

AMP に必要な追加や変更を全て自動で扱うことはできないケースもあります。

例えば、全ての画像に、"width" と "height" 属性を自動で追加することは、パフォーマンスの観点から現実的ではありません。

AMP 標準に完全に準拠するには、ウェブサイトコンテンツを手動で確認したり編集したりする必要があるケースもあります。

7.2. AMP 検証機能の利用環境について

AMP 検証機能は、AMP プロジェクト外部サイト(<https://validator.ampproject.org>)へアクセス可能な環境が必要となります。

7.3. AMP 検証機能の利用ブラウザについて

AMP 検証機能で利用する AMP プロジェクトのバリデーションサービスは、Microsoft Internet Explorer に対応していません。

以 上